

エポカル武雄だより

2019年10月 第127号



田島征三

絵本原画展と流木アート展

■開催期間: 9月26日(木)～11月4日(月・祝)

■場所: 武雄市こども図書館・プレイ&ワークスペース

現在、こども図書館内で、『とべバッタ』『あめがふるふる』など有名な日本を代表する絵本作家・田島征三さんの原画展を開催しております。

<展示作品>

「ぼく、おたまじゃくし？」

「どんぐりと山猫」

流木アート 他



『ぼく、おたまじゃくし?』

田島 征三/作

佼成出版社



介護カフェ



■日時: 10月16日(水) 14:00～15:00

■場所: 武雄市図書館・共有席

■対象: どなたでも

■参加費: 無料

介護のお悩みや体験等を語り、情報交換できる機会です。

日頃の介護の疲れを癒し、仲間と一緒にリフレッシュしませんか？



楽しい紙芝居の世界



■日時: 10月18日(金) 19:00～20:00

■場所: 武雄市こども図書館・えほんの山

■対象: どなたでも

■参加費: 無料

紙芝居が好きな方、紙芝居をゆっくり味わいたい方、この機会にぜひお気軽にご参加ください。

当日は、紙芝居の演じ方ミニ講座も予定しております。夜のこども図書館でみんなで楽しみませんか？



読書週間ご存知ですか？



終戦の2年後の1947年(昭和22年)、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。

それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まっています。

本年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりの読書への関心と、読書習慣の確立の契機となることを願ってやみません。

この秋、武雄市は、蘭学・洋学の導入・研究という共通の歴史をもつ岡山県津山市との交流展覧会を、津山洋学資料館と武雄市歴史資料館で開催します。

植物への関心

津山藩（現在の岡山県津山市）医・宇田川榕菴^{うだがわようあん}は、西洋の植物学や化学を本格的に日本に紹介し、「日本における近代科学の生みの親」といわれています。

榕菴は29歳の時、江戸でシーボルトと出会いました。シーボルトは、榕菴の語学力や科学的知識^ほを褒め、榕菴から贈られた植物標本や写生画に感動して、スプレングル著『植物学入門』（ドイツ語版）^{けんびきょう}と顕微鏡を贈りました。

この出会いから、榕菴はさらに植物学に取り組み、天保5（1834）年、日本初の本格的な西洋植物学の解説書『植学啓原^{しょくがくけいげん}』を著しました。西洋の新しい学説を取り入れ、植物の分類、形態、形態、生理、解剖などが科学的に論じられています。巻末には、スプレングルの『植物学』から顕微鏡観察による精密な植物図を引用しています。また、「葯^{やく}」「柱頭^{ちゅうとう}」などの用語は榕菴が造りました。



▲植学啓原
宇田川榕菴著 天保5年刊
武雄鍋島家資料 武雄市蔵



▲植学啓原図自筆校正
津山洋学資料館蔵



★交流展覧会第一弾★

岡山県津山市で武雄の蘭学資料が紹介されます！

武雄×津山交流展示

日本を動かす! - 武雄の蘭学 -

会期：令和元年10月5日(土)～11月4日(月・祝)

会場：津山洋学資料館（岡山県津山市西新町5番地）

★交流展覧会第二弾★

津山×武雄交流展 蘭学の競演

会期：令和元年11月16日(土)～12月15日(日) ※会期中無休

会場：武雄市図書館・歴史資料館

武雄鍋島家資料のなかに宇田川榕菴の『植学啓原』があります。武雄領主鍋島茂義は、領内に薬園や植物園を置き、温室も設けて、国内外の様々な植物を栽培していました。茂義の植物学への強い興味・関心のなかで、この『植学啓原』も参考にしたのではないかと考えられます。

武雄市図書館・歴史資料館

図書館 9:00～21:00／年中無休

TEL (0954-20-0222)

歴史資料館 9:00～17:00／月曜休館

FAX (0954-20-0223)

（災害時等、緊急の場合は休館致します。） <http://www.epochal.city.takeo.lg.jp/>

